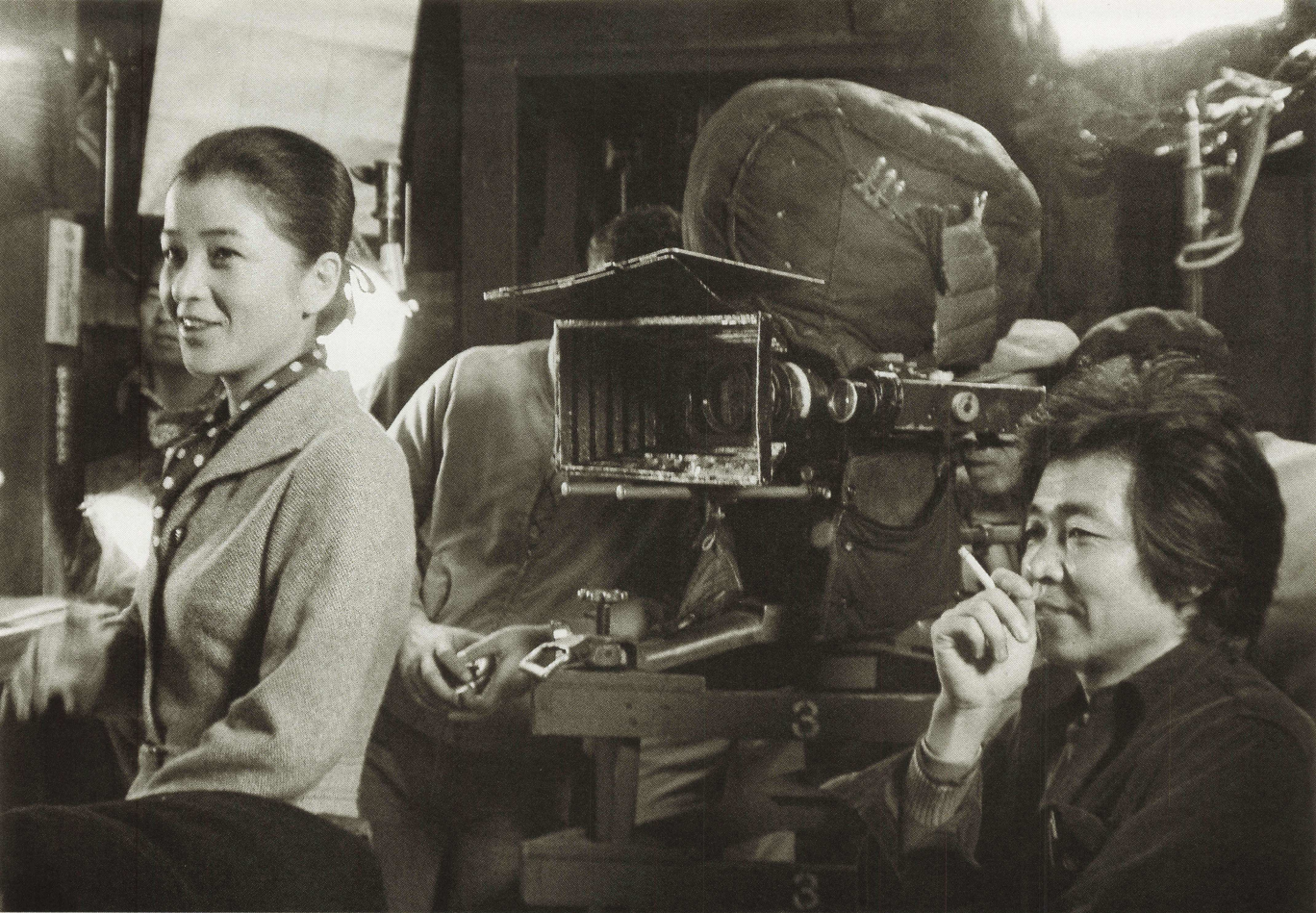




# 山田洋次と千恵子 1000倍賞

映画がつないだふたりの絆

TOKYO<sup>\*\*\*</sup>タクシロ  
公開記念

2025  
11.29<sup>土</sup>—12.12<sup>金</sup>  
神保町<sup>SHIMBUDCHO</sup>シアター

写真●「男はつらいよ 寅次郎純情詩集」撮影風景©松竹





# 山田洋次と倍賞千恵子

映画がつないだふたりの絆

## 3 男はつらいよ 監督・原作=山田洋次



1969(S44)●松竹大船●カラー●1時間31分●脚本=山田洋次、森崎東●撮影=高羽哲夫●音楽=山本直純●美術=梅田千代夫  
出演=渥美清、倍賞千恵子、前田吟、森川信、笠智衆、志村喬

©1969松竹

◆山田監督・渥美主演の不動の人気シリーズの第1作。倍賞演じるフーテンの寅の異母妹・さくらの結婚が賑々しく描かれ、花嫁姿の倍賞が眼福。

## 6 同胞 監督・原作=山田洋次



1975(S50)●松竹大船●カラー●2時間7分●脚本=山田洋次、朝岡義隆●撮影=高羽哲夫●音楽=岡田京子●美術=佐藤公信  
出演=倍賞千恵子、寺尾聰、下條アトム、赤塚真人、井川比佐志、市毛良枝

©1975松竹

◆東京の劇団のミュージカル公演を実現させようと、岩手の農村の青年団員たちが奔走する。経済発展から残り残された農村の青春を熱く描く。

## 4 家族 監督・原作=山田洋次



1970(S45)●松竹大船●カラー●1時間46分●脚本=山田洋次、宮崎晃●撮影=高羽哲夫●音楽=佐藤勝●美術=佐藤公信  
出演=倍賞千恵子、井川比佐志、笠智衆、前田吟、渥美清

©1970松竹

◆高度成長期の只中、長崎の離島から北海道の開拓村へ向かう一家を描くロードムービー。倍賞は、幾多の困難に直面する芯の強い妻を熱演。

## 7 遙かなる山の呼び声 監督・原作=山田洋次



1980(S55)●松竹●カラー●2時間4分●脚本=山田洋次、朝岡義隆●撮影=高羽哲夫●音楽=佐藤勝●美術=出川三男  
出演=高倉健、倍賞千恵子、吉岡秀隆、ハナ肇、鈴木瑞穂、武田鉄矢、渥美清

©1980松竹

◆北海道・中標津。女手ひとつで息子を育てる民子(倍賞)の牧場に謎の男(高倉)が現れる。倍賞・高倉コンビの相性も最高の感動篇。

## 1 下町の太陽 監督=山田洋次



1963(S38)●松竹大船●白黒●1時間26分●脚本=山田洋次、不破三雄、熊谷繁●撮影=堂脇博●音楽=池田正義●美術=梅田千代夫  
出演=倍賞千恵子、勝呂春、早川保、待田京介、武智豊子、東野英治郎

©1963松竹

◆山田の監督2作目であり、倍賞との出会いとなった記念すべき作品。東京の下町を舞台に、ある女工(倍賞)の恋と夢を綴った珠玉の歌謡映画。

## 2 霧の旗 監督=山田洋次 | 原作=松本清張



1965(S40)●松竹大船●白黒●1時間51分●脚本=橋本忍●撮影=高羽哲夫●音楽=林光●美術=梅田千代夫  
出演=倍賞千恵子、露口茂、滝沢修、逢初夢子、新珠三千代、市原悦子

©1965松竹

◆殺人犯にされた兄の冤罪を信じた妹の哀しき復讐劇。山田監督と二度目のタッグの倍賞が深い闇を秘めた冷徹な女を演じ、新たな魅力を開花。

## 5 故郷 監督・原作=山田洋次



1972(S47)●松竹大船●カラー●1時間36分●脚本=山田洋次、宮崎晃●撮影=高羽哲夫●音楽=佐藤勝●美術=佐藤公信  
出演=井川比佐志、倍賞千恵子、笠智衆、渥美清、前田吟、田島令子

©1972松竹

◆瀬戸内海の碎石運搬船で生計を立てる一家に時代の波が押し寄せ。『家族』に続き、山田監督が変わりゆく家族の姿を静かに見つめた叙情篇。

## 8 小さいうち 監督=山田洋次 | 原作=中島京子



2014(H26)●「小さいうち」製作委員会●カラー●2時間16分●脚本=山田洋次、平松忠美子●撮影=近森真史●音楽=久石譲●美術=出川三男、須江大輔  
出演=松たか子、黒木華、吉岡秀隆、倍賞千恵子、妻夫木聡、片岡孝太郎、橋爪功

©2014松竹

◆昭和初期の東京。戦況悪化の中、赤い屋根の小さな家で密かに起こる恋愛事件とは。松竹大船の伝統を感じる豪華なセットも見物の文芸大作。

## 2025年11月29日(土)~12月12日(金)・14日間 ★全作品35mmフィルム上映

| 土日祝<br>平日 | 11:00<br>12:00      | 13:15<br>14:15      | 15:30<br>16:30 ★夕暮れ割(平日のみ) | 17:45<br>19:15      | 終映時刻 ↓ |
|-----------|---------------------|---------------------|----------------------------|---------------------|--------|
| 11月29日[土] | 1●下町の太陽             | 2●霧の旗               | 3●男はつらいよ                   | 4●家族                | 19:31  |
| 11月30日[日] | 2●霧の旗               | 3●男はつらいよ            | 4●家族                       | 1●下町の太陽             | 19:11  |
| 12月 1日[月] | 3●男はつらいよ            | 4●家族                | 1●下町の太陽                    | 2●霧の旗               | 21:06  |
| 12月 2日[火] | 4●家族                | 1●下町の太陽             | 2●霧の旗                      | 3●男はつらいよ            | 20:46  |
| 12月 3日[水] | 1●下町の太陽             | 2●霧の旗               | 3●男はつらいよ                   | 4●家族                | 21:01  |
| 12月 4日[木] | 2●霧の旗               | 3●男はつらいよ            | 4●家族                       | 1●下町の太陽             | 20:41  |
| 12月 5日[金] | 3●男はつらいよ            | 4●家族                | 1●下町の太陽                    | 2●霧の旗               | 21:06  |
| 12月 6日[土] | 5●故郷 (10:30)        | 6●同胞 (12:35)        | 7●遙かなる山の呼び声 (15:10)        | 8●小さいうち (18:30)     | 20:01  |
| 12月 7日[日] | 6●同胞 (10:30)        | 7●遙かなる山の呼び声 (11:30) | 8●小さいうち (15:45)            | 5●故郷 (18:30)        | 20:06  |
| 12月 8日[月] | 7●遙かなる山の呼び声 (11:30) | 8●小さいうち (14:00)     | 5●故郷 (16:45)               | 6●同胞 (19:00)        | 21:07  |
| 12月 9日[火] | 8●小さいうち (11:30)     | 5●故郷 (13:30)        | 6●同胞 (16:15)               | 7●遙かなる山の呼び声 (19:00) | 21:04  |
| 12月10日[水] | 5●故郷 (11:30)        | 6●同胞 (13:30)        | 7●遙かなる山の呼び声 (16:15)        | 8●小さいうち (18:45)     | 21:01  |
| 12月11日[木] | 6●同胞 (11:30)        | 7●遙かなる山の呼び声         | 8●小さいうち (16:45)            | 5●故郷 (19:30)        | 21:06  |
| 12月12日[金] | 8●小さいうち (11:30)     | 5●故郷                | 6●同胞 (16:15)               | 7●遙かなる山の呼び声 (19:00) | 21:04  |

★作品名末尾の( )内の数字は上映開始時刻です。( )の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。

★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めご了承ください。

入場料金(当日のみ)=一般¥1400/シニア¥1200/学生¥1000

各種割引水曜サービスデー・夕暮れ割(平日3回のみ)・誕生日割(要身分証提示)=一般/シニア¥1100

●1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日のみ。販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ●開場は各回10分前を予定しております。

●上映開始後10分を過ぎるとの入場はお断りします。 ●混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。 ●販売後の変更、取り消しはできません。

●自由席定員制(99席)

●整理番号制

●各回完全入替制

山田洋次監督最新作

主演 倍賞千恵子、木村拓哉

# TOKYOタクシ

11.21 公開

昭和から平成、令和と、日本に生きる人々を長年描き続けてきた山田洋次監督が、刻々と変化する大都市「東京」を舞台に人生の喜びを謳い上げる感動の物語。

※当館での上映はありません

神保町シアター特集企画予告

## にっぽん「芸道物」の世界

— 芸能の道を究める人々 —

12月13日(土)~12月26日(金)

★上映作品★

成瀬巳喜男監督『旅役者』(1940)、『歌行燈』(1943)、『鶴八鶴次郎』(1938)、『芝居道』(1944)

マキノ雅弘監督『人生とんぼ返り』(1955)／溝口健二監督『残菊物語』(1939)／

大庭秀雄監督『残菊物語』(1963)／安田公義監督『雲右衛門とその妻』(1962)